

7月1日から

さくらリサイクルセンター

資源化ごみ処理施設

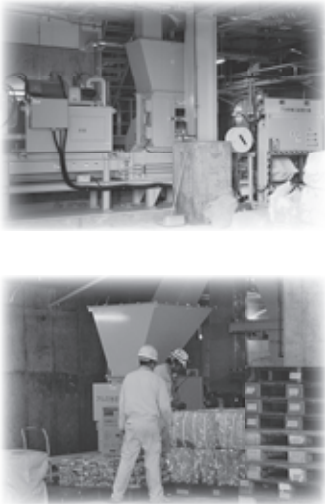
稼動します



さくらリサイクルセンター敷地内に建設中の不燃棟が6月末に完成します。

7月1日以降は可燃ごみ(RDF化処理・不燃ごみ(資源化処理))をさくらリサイクルセンターで一括して処理します。

このことにより、今まで不燃ごみを処理していた「しらすぎクリーンセンター」は6月30日(水)に閉鎖となります。



■施設概要

《名称》 さくらリサイクルセンター

《所在地》 資源化ごみ処理施設 伊賀市治田地区

《リサイクル施設》

○施設規模 17.3トン/5h

○処理対象 金属製粗大ごみおよび金属類、びん類、アルミ缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装

《敷地面積》 20,517㎡

《延床面積》 3,281㎡

《工期》

平成21年1月23日～平成22年6月25日

■施設の特徴

不燃ごみに対応した処理ラインを完備し、不燃ごみの中から資源物を回収して資源化を図ります。

①金属粗大ごみおよび金属類ライン

金属粗大ごみ(スプレー缶、カセットボンベ、ファンヒーター、使い捨てライター)や金属類(自転車、スチール缶)を細かく破碎し、機械選別によって鉄、アルミを回収します。

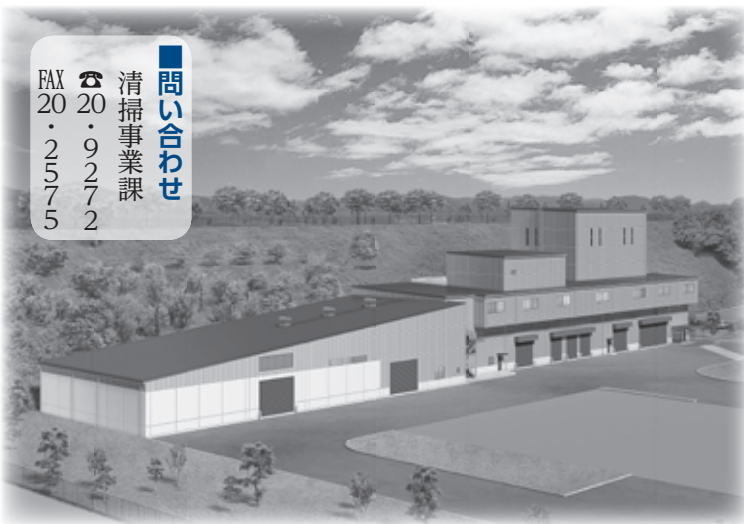
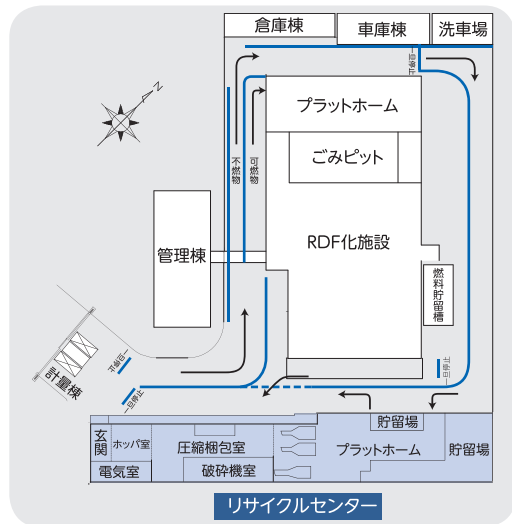
②アルミ缶・ペットボトルライン

アルミ缶やペットボトルが回収された収集袋を破袋機で破き、手選別により異物を除去します。アルミ缶は圧縮成型し、ペットボトルは圧縮梱包します。

③びん類・プラスチック製容器包装ライン

びん類は手選別コンベヤで色(無色・茶色・その他)ごとに選別します。プラスチック製容器包装(ペットボトルなどのふた、カップ類、トレイ類)は手選別により異物を除去し、圧縮梱包します。

■施設配置図



■問い合わせ

清掃事業課

☎ 20・9272

FAX 20・2575

伊賀北部地区 可燃ごみ収集状況の推移 (指定ごみ袋制度導入による比較)

平成22年5月末現在 単位:kg

	1～3月	4月	5月	累計
平成18年(導入前)	4,325,820	1,404,310	1,698,310	7,428,440
平成21年(3年目)	3,922,700	1,358,410	1,363,620	6,644,730
平成22年(4年目)	3,924,020	1,445,450	1,440,840	6,810,310

市指定ごみ袋取扱店 (4月以降新規登録)

- ローソン森精機伊賀事業所前店 (愛田520-4)
- お酒と薬のヒロタ (三田910)
- おくざわ店 (上野桑町1490)